報道機関・アナリスト向け

KAGA ELECTRONICS CO., LTD.

2022年3月期（第54期）決算説明会資料

加賀電子株式会社

2022年5月26日

目次

- **2022年3月期決算概要** P- 3～

  2021年3月期決算サマリー
  業績ハイライト/セグメント別概況
  バランスシート/キャッシュフロー/通期業績予想

- **経営トピックス** P-29～

  新型コロナウイルス感染拡大への対応/
  前中期経営計画の振り返り/
  新中期経営計画の概要・経営施策・経営目標/
  サステナビリティ中長期経営計画/
  株主還元

- **参考情報** P-42～

2022年3月期決算概要

取締役 常務執行役員 管理本部長
川村　英治

2022年3月期決算　サマリー

2022年3月期の概況	● **売上高：主力の電子部品事業が牽引**。国内外の製造業における生産活動の回復に伴い旺盛な需要が継続し、**大幅増収。2期ぶりに過去最高更新**。 ● **営業利益**：売上増及び利益率改善による売上総利益増、コロナ禍の中での働き方改革や経費抑制にも継続して取り組み**大幅増益。3期連続の最高益更新**。 ● **当期純利益**：前期計上の特別利益**「負ののれん発生益（79.6億円）」の剥落**あるも、**本業での収益拡大により大幅増益。2期連続の最高益更新。**
2023年3月期業績予想	● **経済情勢**：変異株によるコロナ感染再拡大、ウクライナ情勢の先行き、原油など資源価格の高騰、など**国内外の景気見通しは不透明**な状況が続く。 ● **業界動向**：半導体・電子部品の需給逼迫は当面は継続するも、**自動車や通信機器、家電向けに、引き続き需要拡大**を見込む。 ● **当社の見通し**：車載、産業機械、医療など注力分野での収益拡大に注力し、**売上高及び営業利益での増収増益モメンタムを維持**する。
株主還元	● **2022年3月期：期末配当**は、前回予想65円(普通配当40円＋特別配当25円)に、**「特別配当10円」を上乗せし、1株当たり75円に増額修正**。 ※**年間配当は、前期比40円増配の1株当たり120円**。 ● **2023年3月期：普通配当を20円増配**し、**1株当たり140円**（中間、期末とも70円）。加えて、期末配当に**「創立55周年記念配当10円」を実施**。これにより、**年間配当は30円増配の1株当たり150円**の予定。

加賀電子

2022年3月期　業績ハイライト

（単位：百万円）

	2021/3期 実績		2022/3期 実績		前年比	2022/3期 前回予想 （2022年2月3日公表）		予想比
売上高	422,365		**495,827**		17.4%	**475,000**		4.4%
売上総利益	47,936	11.3%	**60,547**	12.2%	26.3%	**－**		－
販売費及び一般管理費	36,469	8.6%	**39,632**	8.0%	8.7%	**－**		－
営業利益	11,467	2.7%	**20,915**	4.2%	82.4%	**17,500**	3.7%	19.5%
経常利益	11,241	2.7%	**21,456**	4.3%	90.9%	**18,000**	3.8%	19.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	11,399	2.7%	**15,401**	3.1%	35.1%	**12,000**	2.5%	28.4%
EPS (1株当たり当期純利益、円)	415.07		**576.46**	**－**	－	**449.13**	－	－
ROE	13.5%		**15.7%**		2.2pt	**12.3%**	**－**	3.4pt

加賀電子

2022年3月期　セグメント別業績

（単位：百万円）

		2021/3期 実績		2022/3期 実績		前年比	2022/3期 前回予想（2022年2月3日公表）		予想比
電子部品	売上高	353,454		**433,852**		22.7%	**414,000**		4.8%
	セグメント利益	8,151	2.3%	**18,107**	4.2%	122.1%	**14,800**	3.6%	22.4%
情報機器	売上高	48,389		**39,616**		▲18.1%	**40,000**		▲1.0%
	セグメント利益	2,482	5.1%	**2,085**	5.3%	▲16.0%	**2,000**	5.0%	4.3%
ソフトウェア	売上高	2,932		**2,767**		▲5.6%	**3,000**		▲7.8%
	セグメント利益	263	9.0%	**▲26**	▲1.0%	－	**200**	6.7%	－
その他	売上高	17,589		**19,590**		11.4%	**18,000**		8.8%
	セグメント利益	474	2.7%	**626**	3.2%	32.0%	**500**	2.8%	25.2%
合計	売上高	422,365		**495,827**		17.4%	**475,000**		4.4%
	セグメント利益	11,467	2.7%	**20,915**	4.2%	82.4%	**17,500**	3.7%	19.5%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、
合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

加賀電子

2022年3月期　会社別業績

（単位：百万円）

		2021/3期 実績		2022/3期 実績		前年比	2022/3期 前回予想（2022年2月3日公表）		予想比
加賀電子	売上高	243,897		**281,075**		15.2%	**265,000**		6.1%
	売上総利益	35,273	14.5%	**41,767**	14.9%	18.4%	**38,300**	14.5%	9.1%
	営業利益	11,083	4.5%	**15,461**	5.5%	39.5%	**13,000**	4.9%	18.9%
加賀FEI	売上高	131,932		**149,455**		13.3%	**145,000**		3.1%
	売上総利益	10,307	7.8%	**14,690**	9.8%	42.5%	**13,500**	9.3%	8.8%
	営業利益	362	0.3%	**3,654**	2.4%	907.2%	**2,600**	1.8%	40.5%
エクセル	売上高	46,535		**65,296**		40.3%	**65,000**		0.5%
	売上総利益	2,365	5.1%	**4,247**	6.5%	79.5%	**4,200**	6.5%	1.1%
	営業利益	6	0.0%	**1,937**	3.0%	－	**1,900**	2.9%	2.0%
合計	売上高	422,365		**495,827**		17.4%	**475,000**		4.4%
	売上総利益	47,936	11.3%	**60,547**	12.2%	26.3%	**56,000**	11.8%	8.1%
	営業利益	11,467	2.7%	**20,915**	4.2%	82.4%	**17,500**	3.7%	19.5%

（注）売上総利益および営業利益については、３社間での連結調整前の数値を記載しております。

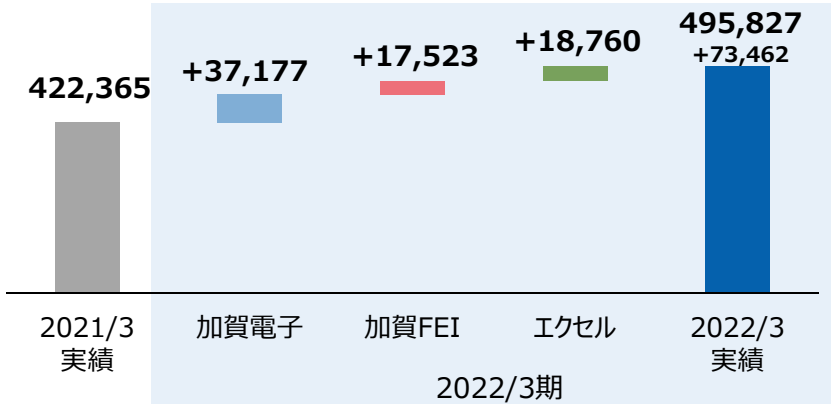
2022年3月期　M&Aの影響

＊エクセルの2021/3期3Q実績には同社海外子会社の2020年1-3月期実績を含まず

（単位：百万円）

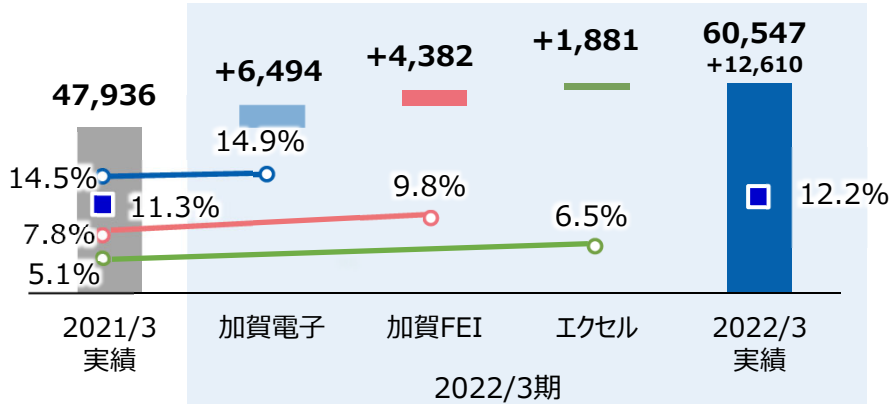
売上高

電子部品事業がけん引して、3社ともに大幅増収＊



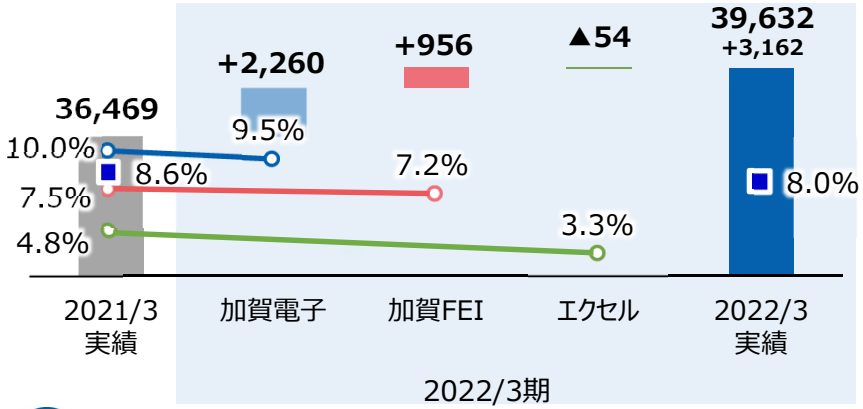
売上総利益 / 売上総利益率

売上増に伴う利益増、利益率改善により3社ともに増益



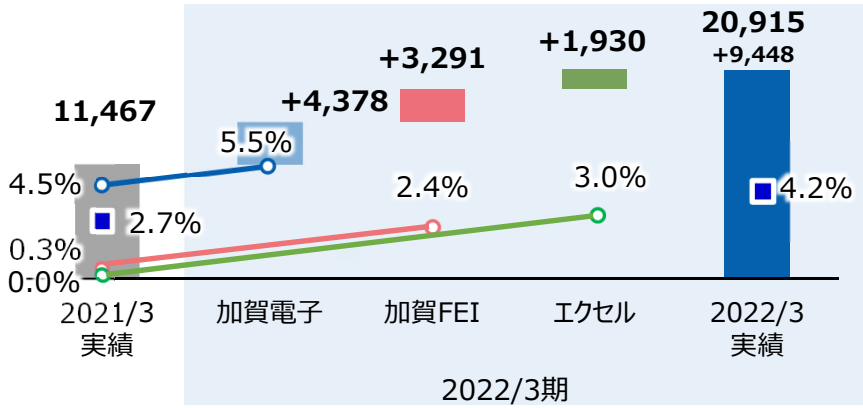
販管費 / 販管費率

売上増に伴い経費増となるも、販管費率は低減。



営業利益 / 営業利益率

売上総利益の増加で経費増を吸収し増益確保。利益率も大幅上昇



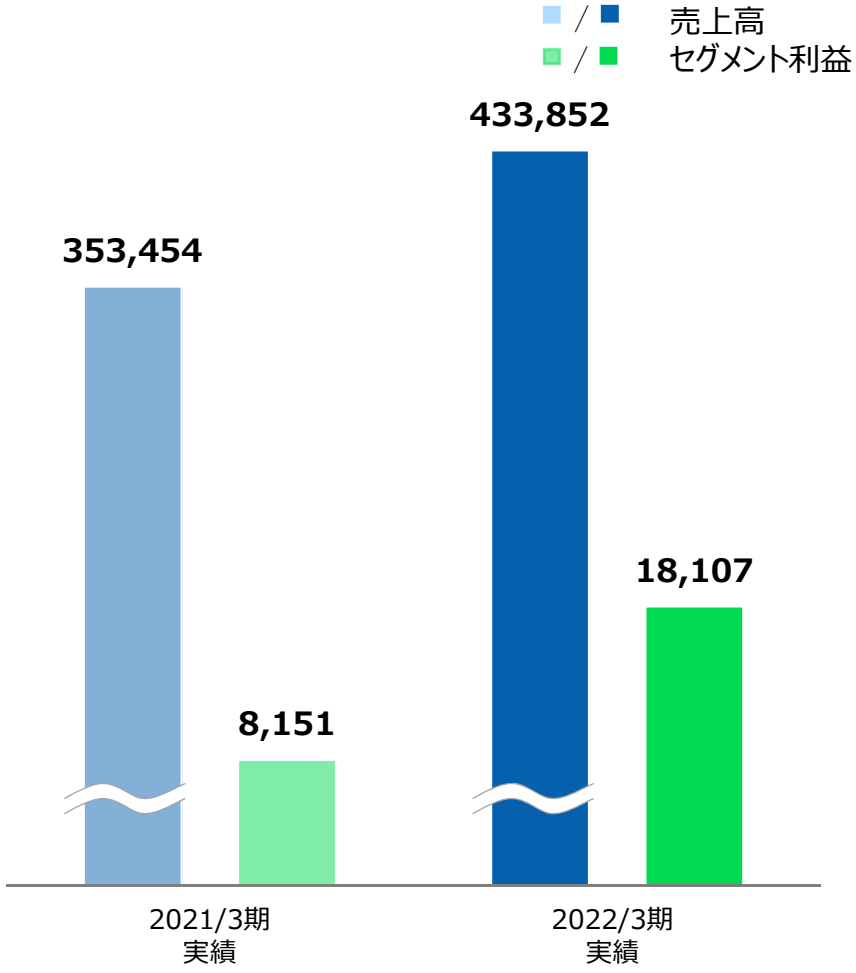
加賀電子

（注）売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。
なお、連結調整額は売上総利益は▲157百万円、営業利益は▲137万円です。

2022年3月期：電子部品事業

（単位：百万円）

売上高・セグメント利益



前年比

- 売上高 ▶ **+80,398**百万円 **22.7%増**
- セグメント利益 ▶ **+9,956**百万円**122.1%増**

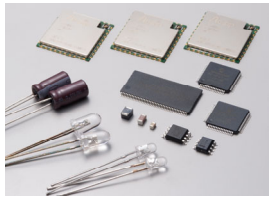
・部品販売ビジネスは、広範な業界からの顧客要望を前広に取り込み、期を通して好調な販売が継続。

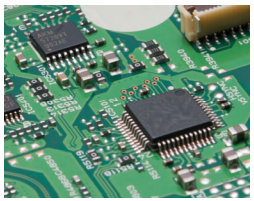
・一部部材の供給不足の中、独立系商社として調達網の強みを活かし、多方面から販売物量を確保できたことも当期業績を押し上げた。

・FEIやエクセルなど買収会社でのPMIが奏功し収益拡大に貢献。

・EMSビジネスは、車載、医療、産業機器向けを中心に、好調に推移。

・新型コロナウイルス感染再拡大によるロックダウンや部品不足が長期化する中、顧客との緊密な連携の下で工程管理を徹底、影響の最小化に努める。



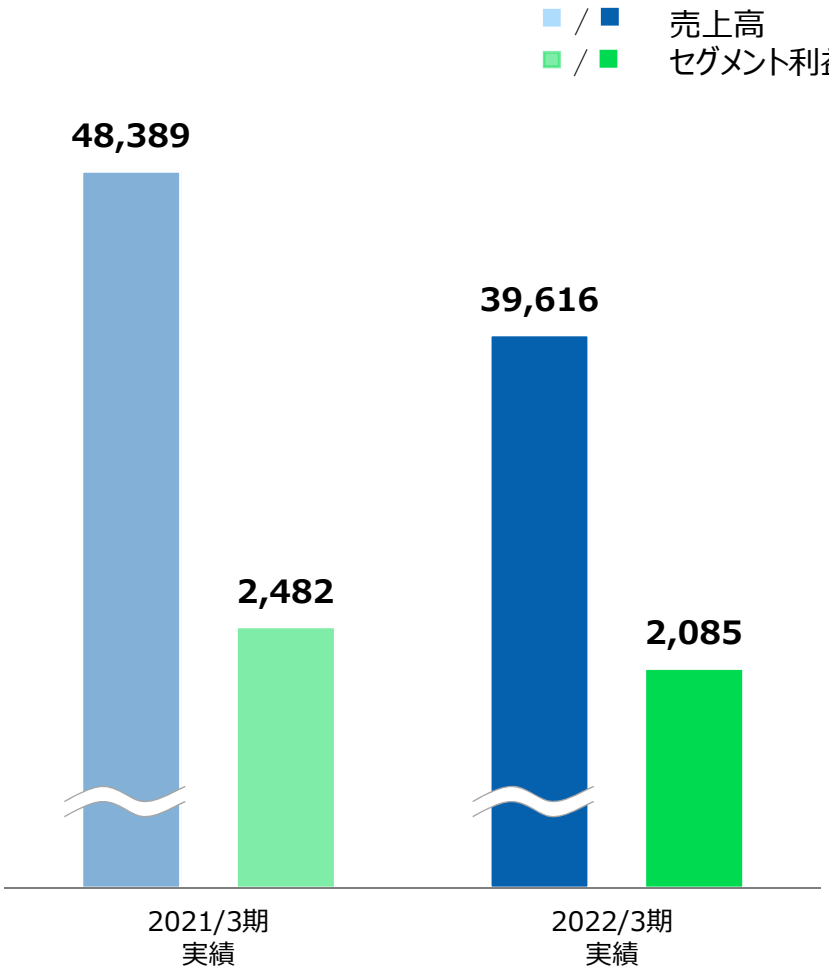


加賀電子

2022年3月期：情報機器事業

（単位：百万円）

売上高・セグメント利益



前年比

- 売上高 ▶ ▲8,772百万円 18.1%減
- セグメント利益 ▶ ▲396百万円 16.0%減

・教育機関向けパソコン、セキュリティソフトなどPC周辺機器の販売は堅調も、法人向けパソコン販売はリモートワーク一巡および製品供給難の影響により低調。

・LED設備設置ビジネスは、資機材の調達難や納期遅延による工期延伸の影響を受け低調。

加賀電子

参考

2022年3月期　業績ハイライト（直近3ヶ月）

（単位：百万円）

	2021/3期 4Q実績		2022/3期 3Q実績		2022/3期 4Q実績		前年同期比	直前期比
売上高	128,099		129,675		**143,143**		11.7%	10.4%
売上総利益	14,289	11.2%	15,628	12.1%	**17,786**	12.4%	24.5%	13.8%
販売費及び一般管理費	10,339	8.1%	9,270	7.1%	**11,529**	8.1%	11.5%	24.4%
営業利益	3,950	3.1%	6,357	4.9%	**6,257**	4.4%	58.4%	▲1.6%
経常利益	4,010	3.1%	6,434	5.0%	**6,569**	4.6%	63.8%	2.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	▲1,329	▲1.0%	4,790	3.7%	**4,986**	3.5%	–	4.1%
EPS (1株当たり当期純利益、円)	▲48.38		182.57		**189.99**		–	–

加賀電子

参考

2022年3月期　セグメント別業績（直近3ヶ月）

（単位：百万円）

		2021/3期 4Q実績		2022/3期 3Q実績		2022/3期 4Q実績		前年同期比	直前期比
電子部品	売上高	106,750		117,005		**122,440**		14.7%	4.6%
	セグメント利益	2,732	2.6%	5,878	5.0%	**5,105**	4.2%	86.8%	▲13.1%
情報機器	売上高	14,451		7,587		**13,315**		▲7.9%	75.5%
	セグメント利益	728	5.0%	305	4.0%	**869**	6.5%	19.2%	184.2%
ソフトウェア	売上高	927		603		**926**		▲0.1%	53.5%
	セグメント利益	156	16.9%	▲0	▲0.1%	**83**	9.0%	▲46.9%	－
その他	売上高	5,969		4,478		**6,460**		8.2%	44.2%
	セグメント利益	325	5.5%	152	3.4%	**152**	2.4%	▲53.0%	0.1%
合計	売上高	128,099		129,675		**143,143**		11.7%	10.4%
	セグメント利益	3,950	3.1%	6,357	4.9%	**6,257**	4.4%	58.4%	▲1.6%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

参考

2022年3月期　会社別業績（直近３ヵ月）

（単位：百万円）

		2021/3期 4Q実績		2022/3期 3Q実績		2022/3期 4Q実績		前年同期比	直前期比
加賀電子	売上高	72,423		73,748		**82,054**		+13.3%	+11.3%
	売上総利益	10,488	14.5%	10,839	14.7%	**12,077**	14.7%	+15.3%	+11.4%
	営業利益	3,304	4.6%	4,698	6.4%	**4,360**	5.3%	+32.0%	▲7.2%
加賀FEI	売上高	39,511		37,876		**43,338**		+9.7%	+14.4%
	売上総利益	3,064	7.8%	3,945	10.4%	**4,419**	10.2%	+44.2%	+12.0%
	営業利益	506	1.3%	1,351	3.6%	**1,235**	2.9%	+143.8%	▲8.6%
エクセル	売上高	16,163		18,050		**17,750**		+9.8%	▲1.7%
	売上総利益	733	4.5%	850	4.7%	**1,293**	7.3%	+76.3%	+52.1%
	営業利益	128	0.8%	308	1.7%	**662**	3.7%	+417.1%	+114.6%
合計	売上高	128,099		129,675		**143,143**		+11.7%	+10.4%
	売上総利益	14,289	11.2%	15,628	12.1%	**17,786**	12.4%	+24.5%	+13.8%
	営業利益	3,950	3.1%	6,357	4.9%	**6,257**	4.4%	+58.4%	▲1.6%

（注）売上総利益および営業利益については、３社間での連結調整前の数値を記載しております。

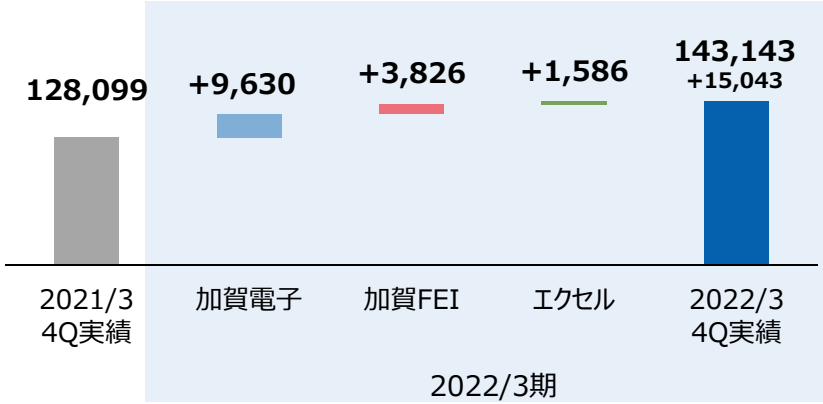
参考

2022年3月期　M&Aの影響（直近3ヶ月）

（単位：百万円）

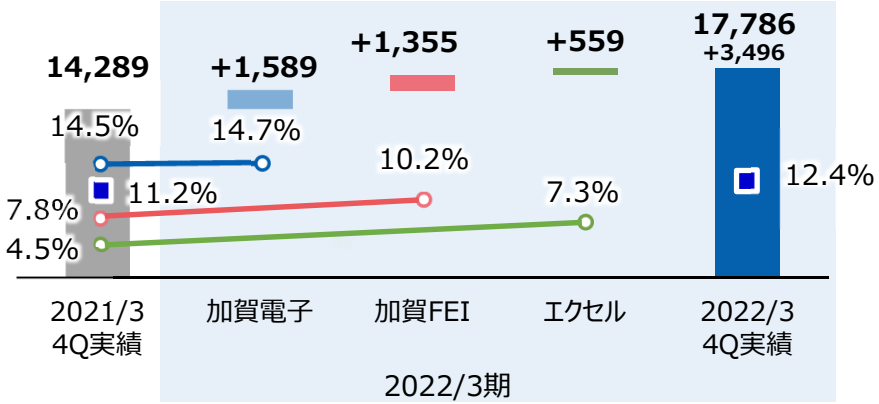
売上高

電子部品事業がけん引して、3社ともに大幅増収



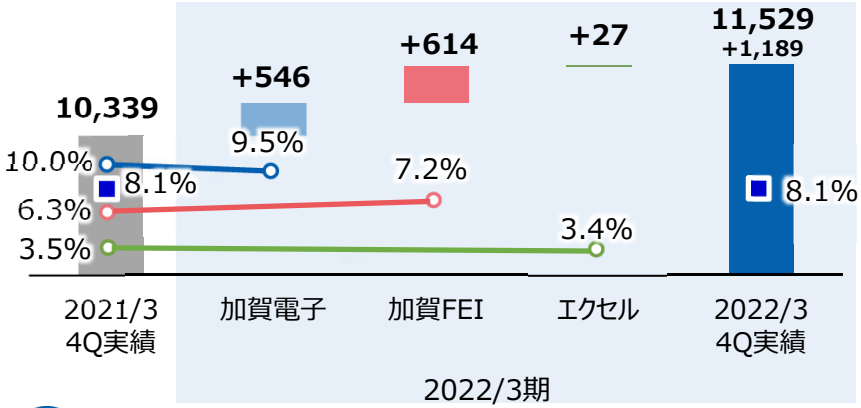
売上総利益 / 売上総利益率

売上増に伴う利益増、利益率改善により3社ともに増益



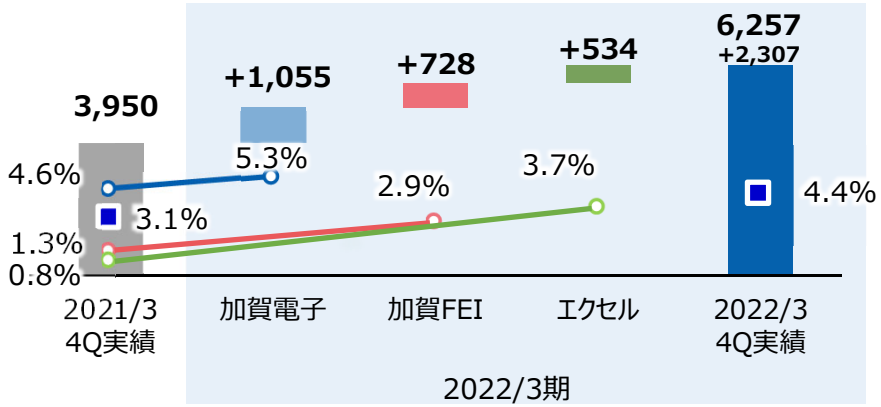
販管費 / 販管費率

売上増に伴う販売費増に加え、4Qは賞与引当など季節要因あり



営業利益 / 営業利益率

売上総利益の増加で経費増を吸収し3社ともに大幅増益



加賀電子

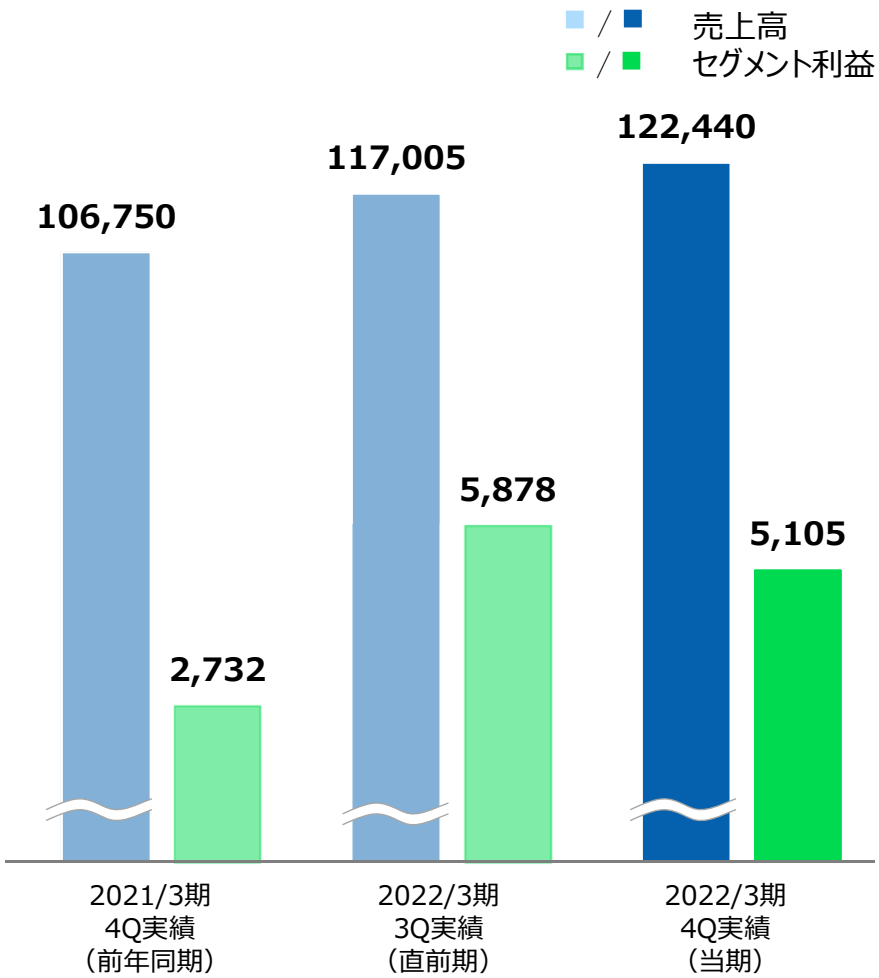
（注）売上総利益および営業利益については、3社間での連結調整前の数値を記載しております。
なお、連結調整額は売上総利益▲5百万円、営業利益は▲0百万円です。

参考

2022年3月期：電子部品事業（直近3ヵ月）

（単位：百万円）

売上高・セグメント利益



前年同期比

- 売上高 ▶ **+15,690**百万円 **14.7%増**
- セグメント利益 ▶ **+2,372**百万円 **86.8%増**

直前期比

- 売上高 ▶ **+5,435**百万円 **4.6%増**
- セグメント利益 ▶ **▲772**百万円 **13.1%減**

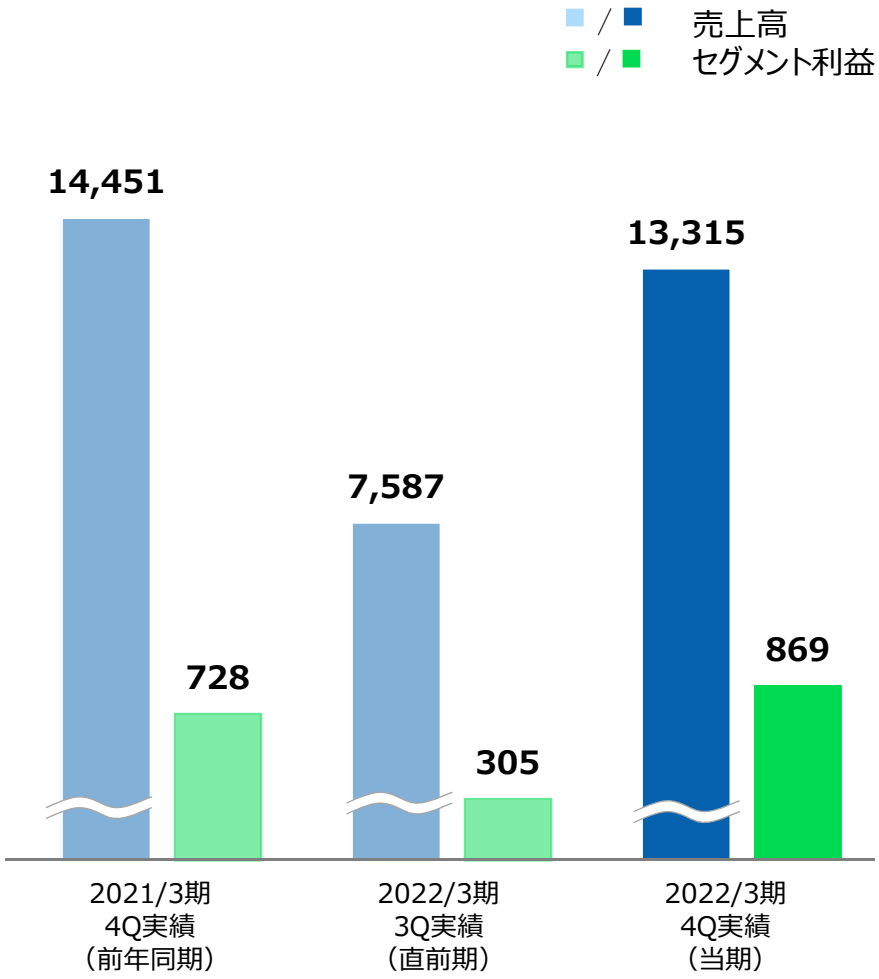
加賀電子

参考

2022年3月期：情報機器事業（直近3ヵ月）

（単位：百万円）

売上高・セグメント利益



前年同期比

- 売上高 ▶ ▲1,135百万円 7.9%減
- セグメント利益 ▶ +140百万円 19.2%増

直前期比

- 売上高 ▶ +5,728百万円 75.5%増
- セグメント利益 ▶ +563百万円 184.2%増

加賀電子

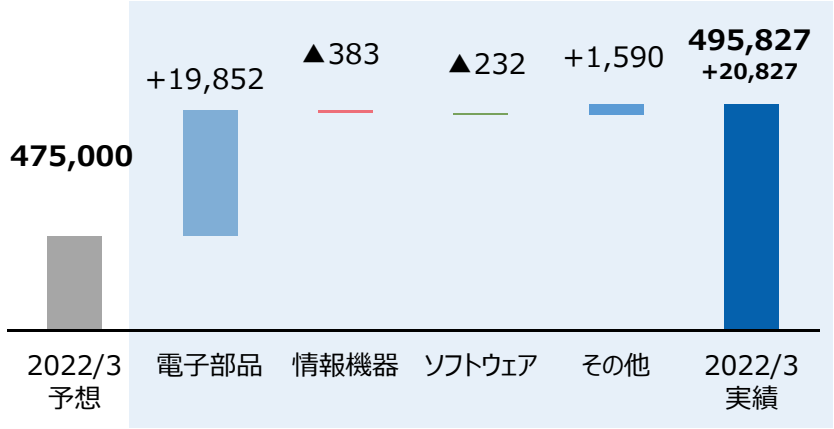
参考

2022年3月期　前回予想（22年2月3日公表）との差異

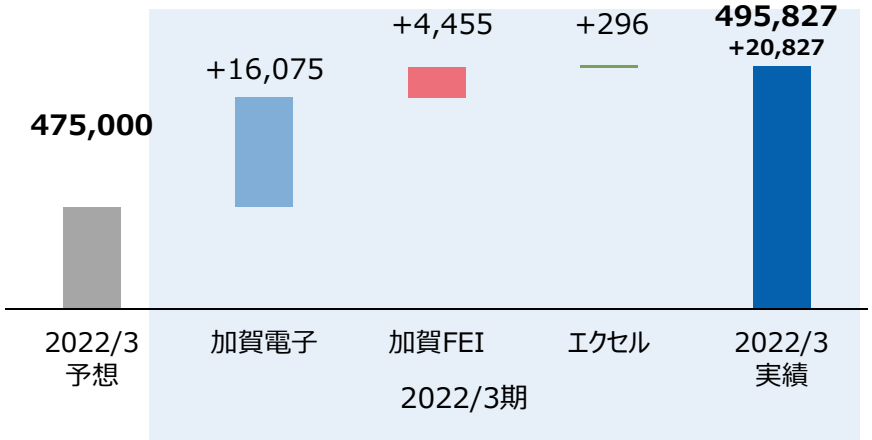
（単位：百万円）

売上高

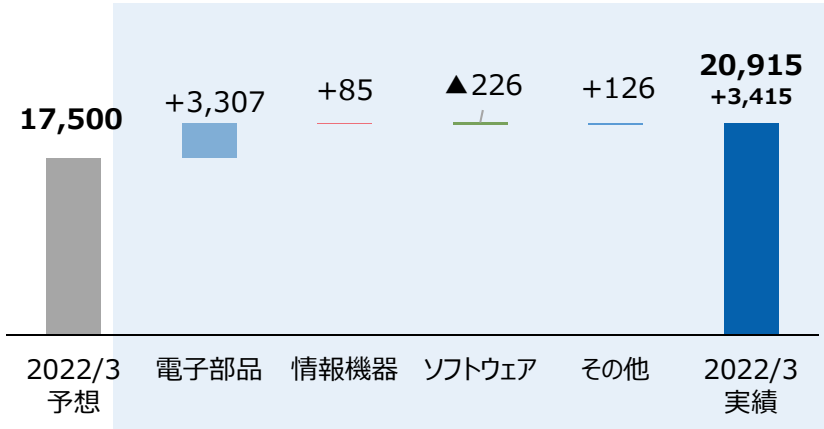
<セグメント別>

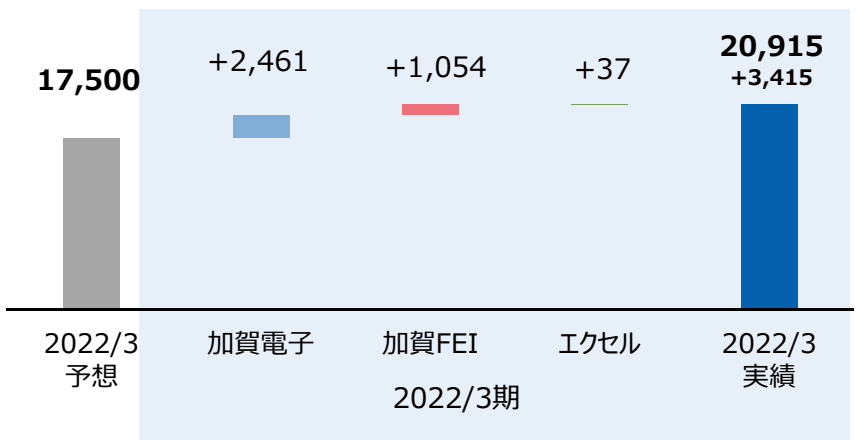


<会社別>



営業利益





（注）営業利益については、各セグメント間での調整前、3社間での連結調整前の数値を記載しております。

参考

中期経営計画に伴うセグメント開示に関して

制度会計としての現行セグメントでの継続開示と併せ、**新中計に沿ったセグメントによる任意開示**を行う

現行セグメント（制度会計）		中計セグメント（管理会計）	
電子部品事業	**部品販売ビジネス** ● 半導体販売 ● 一般部品販売 ● 各種デバイス販売	**電子部品事業**	● 半導体販売 ● 一般部品販売 ● 各種デバイス販売
	EMSビジネス ● 電子機器の製造受託サービス	**EMS事業**	● 電子機器の製造受託サービス
情報機器事業	● PC・PC周辺機器販売 ● 家電製品・照明器具販売 ● 写真・映像関連商品販売	**CSI事業**	● PC・PC周辺機器販売 ● 家電製品・照明器具販売 ● 写真・映像関連商品販売
ソフトウェア事業	● CG映像・ソフトウェアの制作	**その他事業**	● CG映像・ソフトウェアの制作 ● アミューズメント関連商品販売 ● 電子機器の修理・サポート ● スポーツ用品販売
その他事業	● アミューズメント関連商品販売 ● 電子機器の修理・サポート ● スポーツ用品販売		

CSI・・・コンシューマー＆システムインテグレーター

加賀電子

参考

2022年3月期　中計セグメント別業績

（単位：百万円）

		2021/3期 実績		2022/3期 前回予想(*)（2022年2月3日公表）		2022/3期 実績		前年比	予想比
電子部品	売上高	262,318		313,000		**325,830**		+24.2%	+4.1%
	セグメント利益	2,961	1.1%	8,700	2.8%	**11,094**	3.4%	+274.6%	+27.5%
EMS	売上高	99,599		110,000		**117,828**		+18.3%	+7.1%
	セグメント利益	5,539	5.6%	6,400	5.8%	**7,356**	6.2%	+32.8%	+14.9%
CSI	売上高	48,389		40,000		**39,616**		▲18.1%	▲1.0%
	セグメント利益	2,482	5.1%	2,000	5.0%	**2,085**	5.3%	▲16.0%	+4.3%
その他	売上高	12,057		12,000		**12,552**		+4.1%	+4.6%
	セグメント利益	387	3.2%	400	3.3%	**255**	2.0%	▲34.0%	▲36.0%
合計	売上高	422,365		475,000		**495,827**		+17.4%	+4.4%
	セグメント利益	11,467	2.7%	17,500	3.7%	**20,915**	4.2%	+82.4%	+19.5%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、
合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

加賀電子

参考

2022年3月期　中計セグメント別業績（直近3ヵ月）

（単位：百万円）

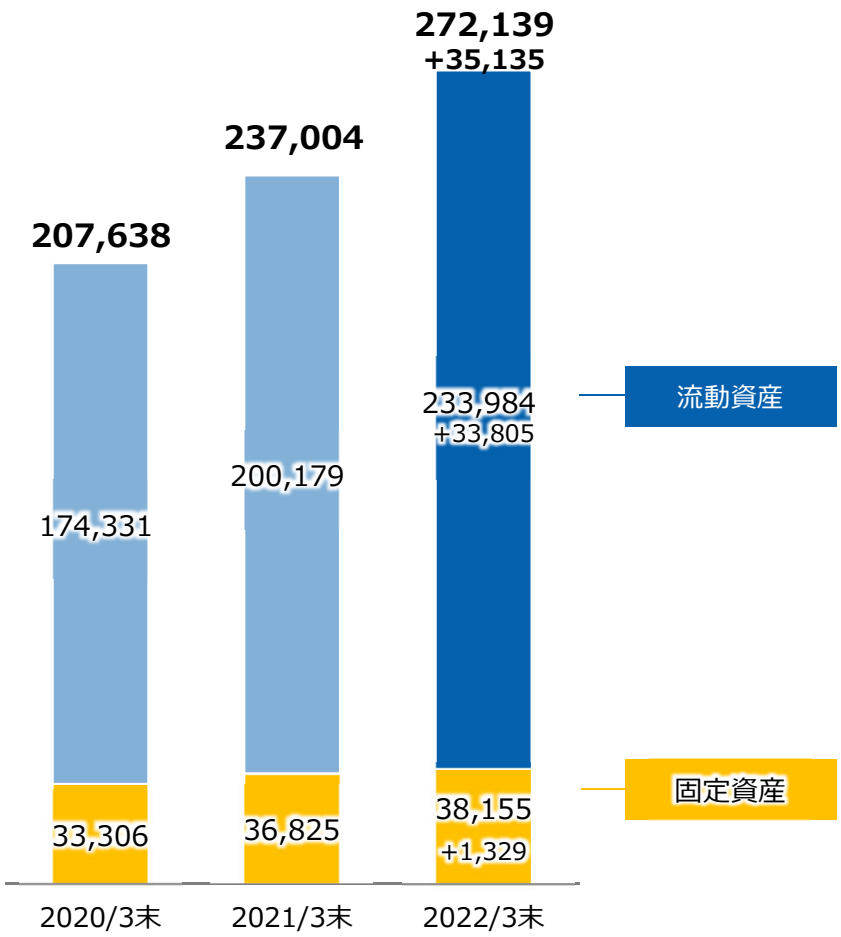
		2021/3期 4Q実績		2022/3期 3Q実績		2022/3期 4Q実績		前年同期比	直前期比
電子部品	売上高	80,405		88,079		**92,960**		+15.6%	+5.5%
	セグメント利益	1,304	1.6%	3,824	4.3%	**3,321**	3.6%	+154.6%	▲13.1%
EMS	売上高	29,383		31,142		**33,232**		+13.1%	+6.7%
	セグメント利益	1,649	5.6%	2,140	6.9%	**1,893**	5.7%	+14.8%	▲11.6%
CSI	売上高	14,451		7,587		**13,315**		▲7.9%	+75.5%
	セグメント利益	728	5.0%	305	4.0%	**869**	6.5%	+19.2%	+184.2%
その他	売上高	3,858		2,865		**3,634**		▲5.8%	+26.8%
	セグメント利益	261	6.8%	64	2.3%	**126**	3.5%	▲51.5%	+95.1%
合計	売上高	128,099		129,675		**143,143**		+11.7%	+10.4%
	セグメント利益	3,950	3.1%	6,357	4.9%	**6,257**	4.4%	+58.4%	▲1.6%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、
合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

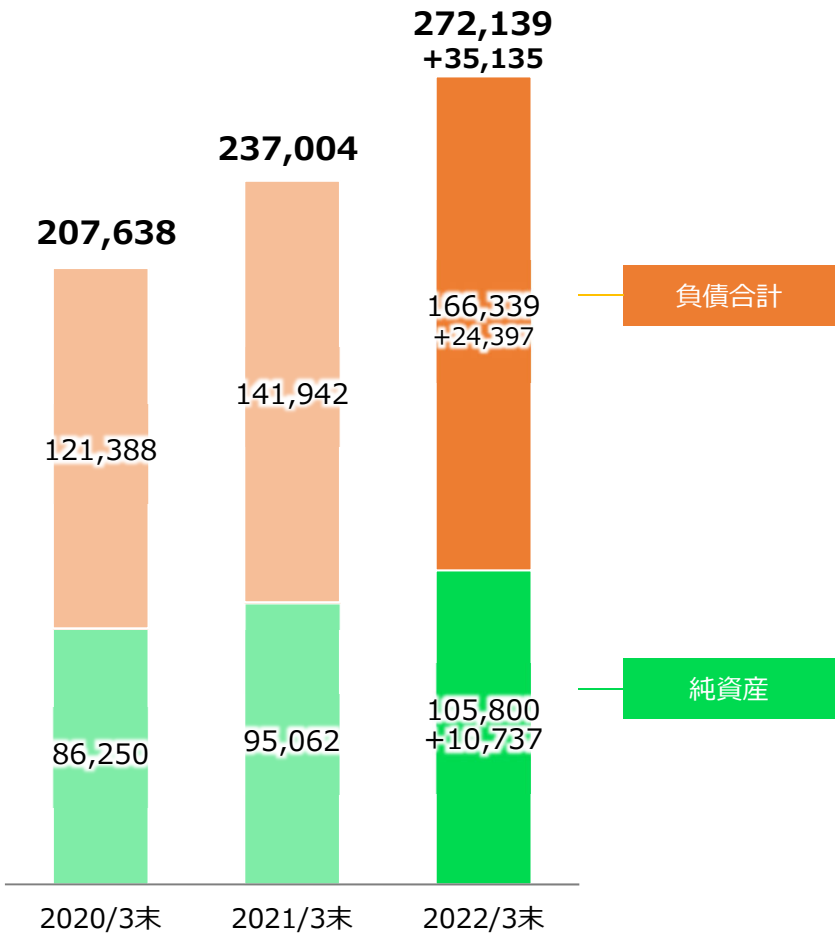
貸借対照表主要項目

（単位：百万円）

総資産



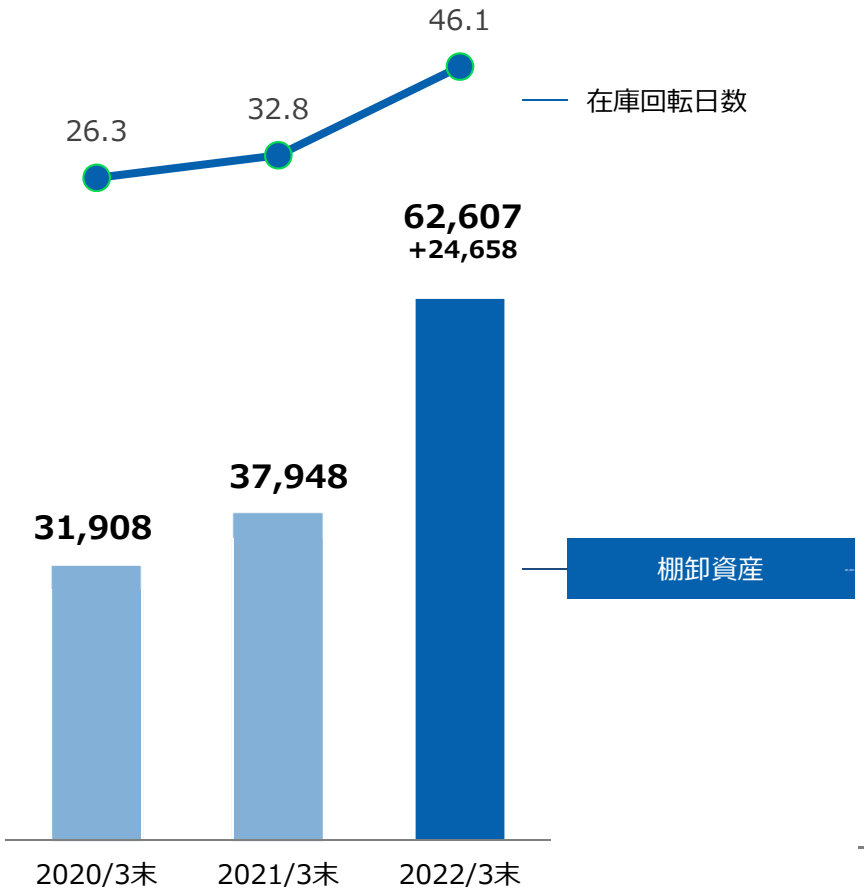
負債・純資産



貸借対照表主要項目

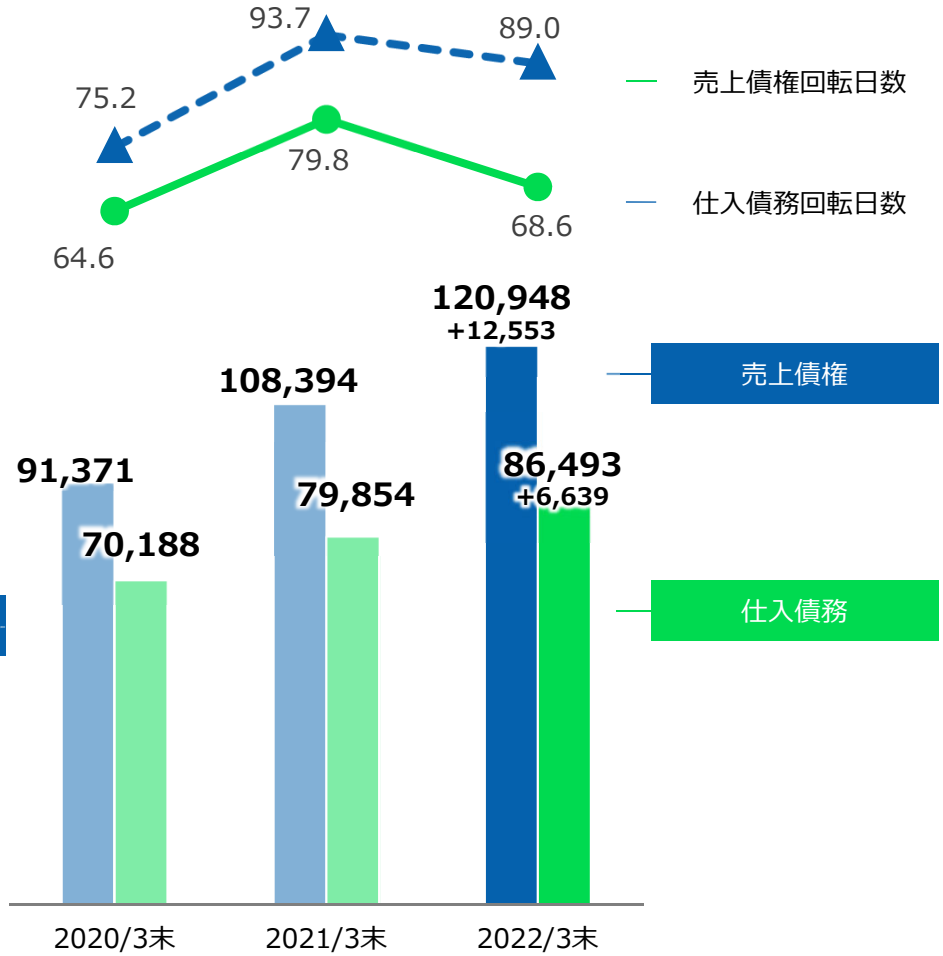
（単位：百万円、日）

棚卸資産



注： 在庫回転日数 ＝ 棚卸資産 ÷ 売上高 × 365（日）

売上債権・仕入債務



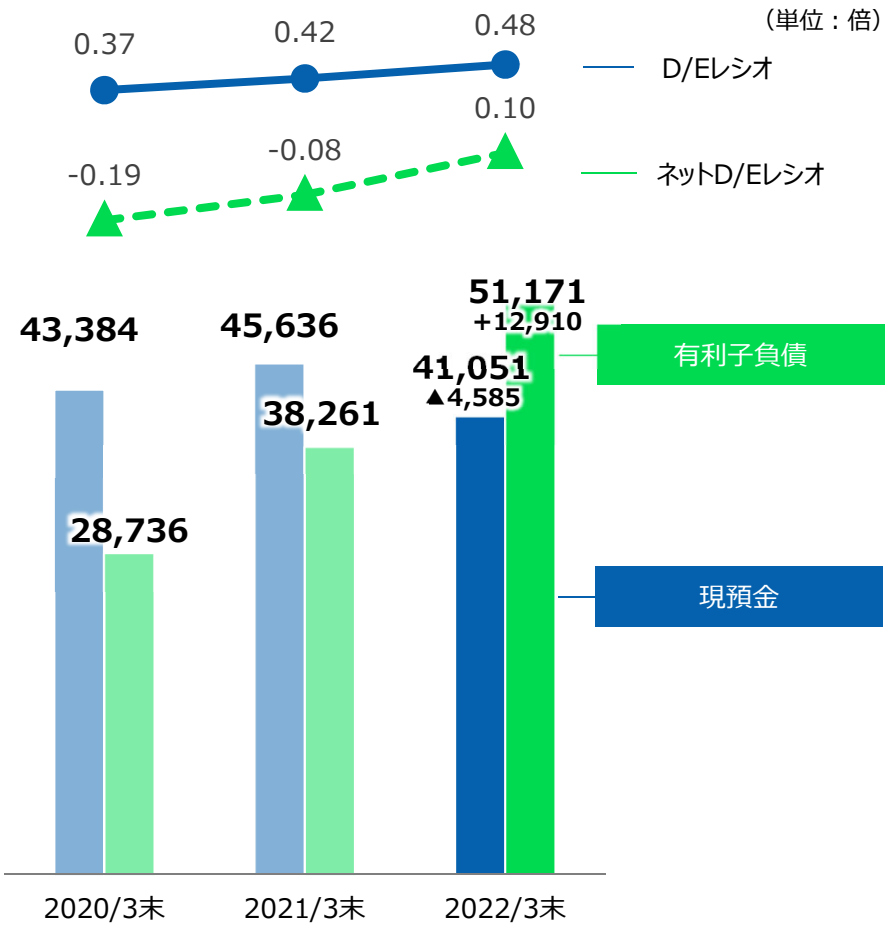
注： 受取手形及び売掛金については、電子記録債権を含めた金額となっております。
支払手形及び買掛金については、電子記録債務を含めた金額となっております。
売上債権回転日数 ＝ 受取手形及び売掛金 ÷ 売上高 × 365（日）
仕入債務回転日数 ＝ 支払手形及び買掛金 ÷ 仕入高 × 365（日）

加賀電子

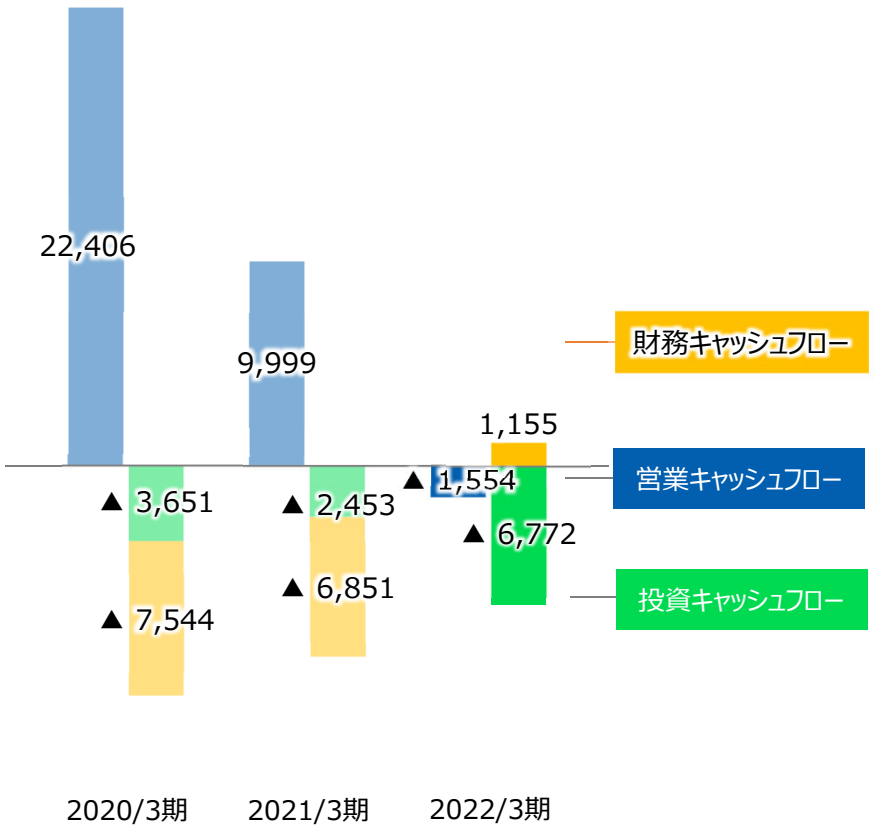
現預金・有利子負債 / キャッシュフロー

（単位：百万円）

現預金・有利子負債



キャッシュフロー



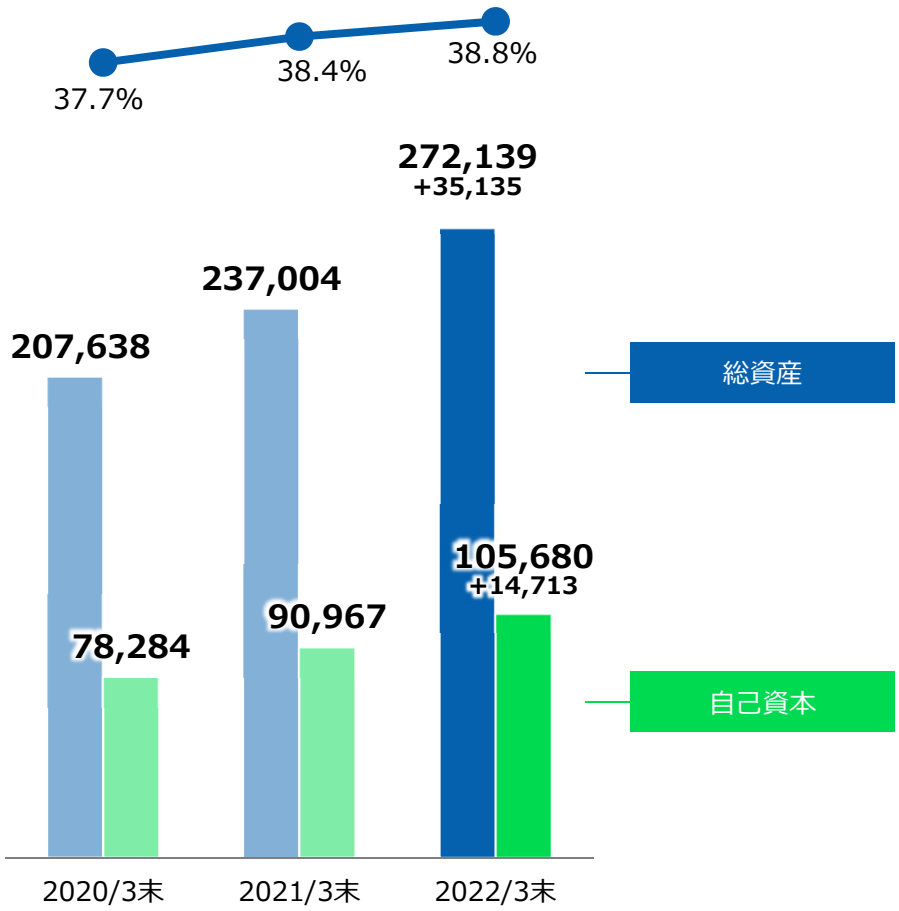
注： D/Eレシオ　＝ 有利子負債 ÷ 自己資本
ネットD/Eレシオ ＝（有利子負債－現預金） ÷ 自己資本

加賀電子

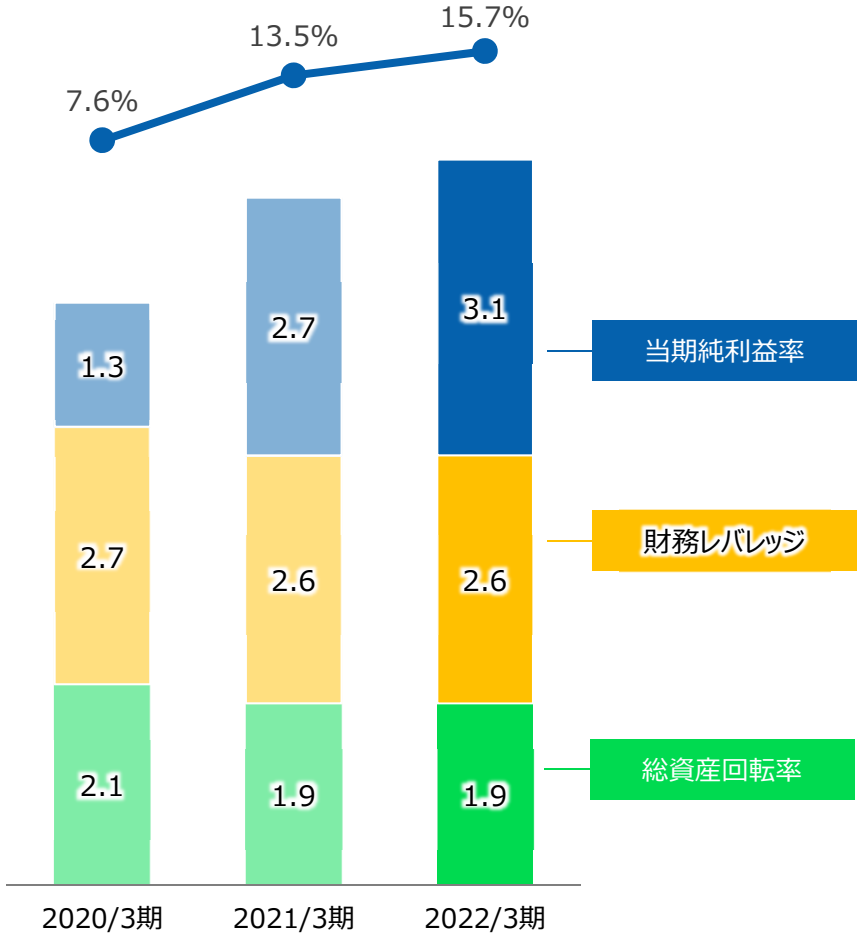
経営指標：安定性･効率性

（単位：百万円）

自己資本比率



ROE（自己資本利益率）



2023年3月期業績予想

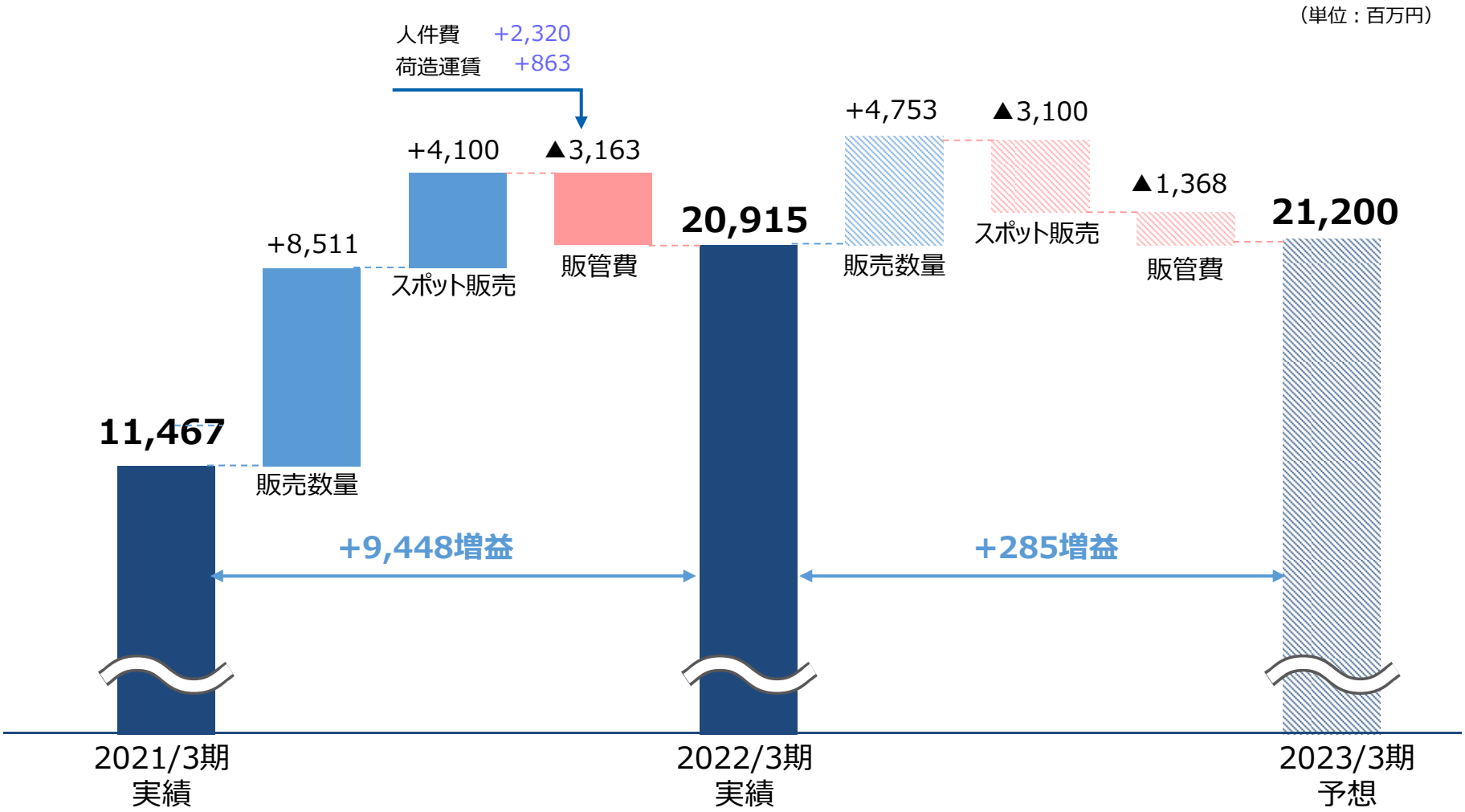
2023年3月期　通期業績予想

（単位：百万円）

	2022/3期 実績		2023/3期 予想		前年比
売上高	495,827		**510,000**		2.9%
営業利益	20,915	4.2%	**21,200**	4.2%	1.4%
経常利益	21,456	4.3%	**21,200**	4.2%	▲1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,401	3.1%	**14,500**	2.8%	▲5.9%
EPS	576.45		**552.42**		－
ROE(1株当たり当期純利益、円)	15.7%		**13.0%**		

加賀電子

2022年3月期/2023年3月期　営業利益増減要因



加賀電子

2023年3月期　セグメント別業績予想

（単位：百万円）

		2022/3期 実績		2023/3期 予想		前年比
電子部品	売上高	433,852		**447,000**		3.0%
	セグメント利益	18,107	4.2%	**18,500**	4.1%	2.2%
情報機器	売上高	39,616		**39,000**		▲1.6%
	セグメント利益	2,085	5.3%	**2,000**	5.1%	▲4.1%
ソフトウェア	売上高	2,767		**4,000**		44.5%
	セグメント利益	▲26	0.1%	**100**	2.5%	－
その他	売上高	19,590		**20,000**		2.1%
	セグメント利益	626	3.2%	**600**	3.0%	▲4.2%
合計	売上高	495,827		**510,000**		2.9%
	セグメント利益	20,915	4.2%	**21,200**	4.2%	1.4%

注：セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

経営トピックス

代表取締役社長 社長執行役員

門　良一

新型コロナウイルス感染再拡大への対応状況：国内営業拠点

オフィス出社率と感染者数

	2021年度上期	2021年度下期	2022年度上期計画
加賀電子	41.5%	45.8%	40%
グループ会社	47.3%	51.6%	（各社毎に設定）
グループ全体	44.4%	48.7%	—

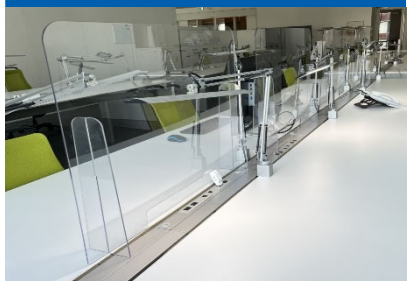
感染者数（2021年度）
47人
104人
151人

感染防止対策

ウイルスを持ち込まない・うつさない

検温器を設置

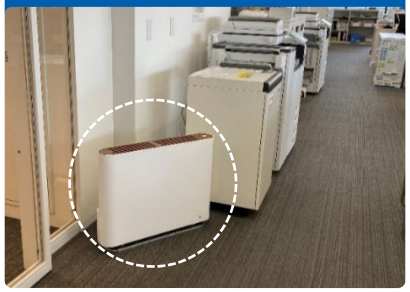
オフィス内のパーティション



抗ウイルス抗菌対策を徹底

抗ウイルスコーティングを施工

光触媒除菌脱臭機を設置



新型コロナウイルス感染再拡大への対応状況：海外生産拠点

工場操業状況と感染者数

■：休止期間

	2021年度上期	2021年度下期	2022年度上期
中国			3/14～20:シンセン
タイ			
インドネシア			
マレーシア	7/15～26		
ベトナム	7/22～9/27		
インド			
チェコ			
トルコ			
メキシコ			

感染者数（2021年度）	
中国	0人
アジア	113人
欧州	2人
米州	18人

感染防止対策

ウイルスを持ち込まない・うつさない

入場時の検温

ゴーグル/マスクを着用

ソーシャルディスタンスを徹底

生産ライン

社員食堂のパーティション

前中期経営計画の振り返り：経営施策の成果

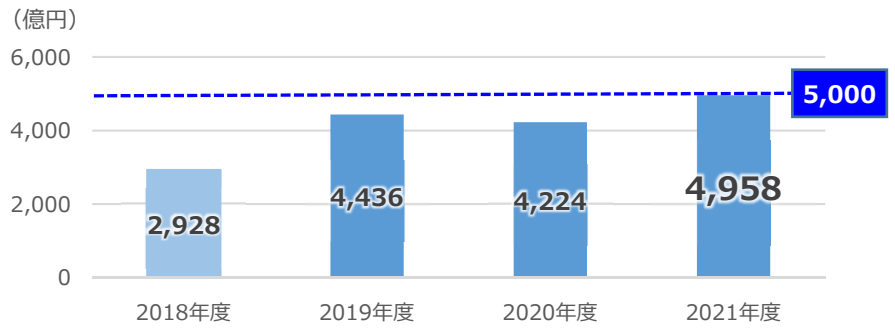
基本方針	重点テーマ	主な成果
収益基盤の強化	▶ 高い成長性及び収益性が見込める市場・領域に注力	○ 企業買収による増収効果：約**2,150**億円 ○ EMS事業の成長：約**280**億円
経営基盤の安定化	▶ 企業買収により脆弱化したグループ経営の効率性・財務健全性の早期改善	○ 加賀FEI／売上総利益率： 6.3%（18年度）➔ **9.8%**（21年度） ○ 加賀電子／連結販管費率： 9.5%（18年度）➔ **8.0%**（21年度） ○ 加賀電子／自己資本比率： 35.8%（19年3月末）➔ **38.8%**（22年3月末）
新規事業の創出	▶ 自社リソース・M&Aを積極活用して、外的環境変化への耐性を強化	○ ベンチャー投資：**19**件実施 （総計42社へ出資） △ 社会課題解決型ビジネス： 防災用ヘリコプター、EVバスビジネスへの 本格参入、医療機器ビジネスへの参入準備

前中期経営計画の振り返り：経営数値の成果

売上高
<経営目標>
5,000億円
<成果>
4,958億円

▶ 僅かに届かず。

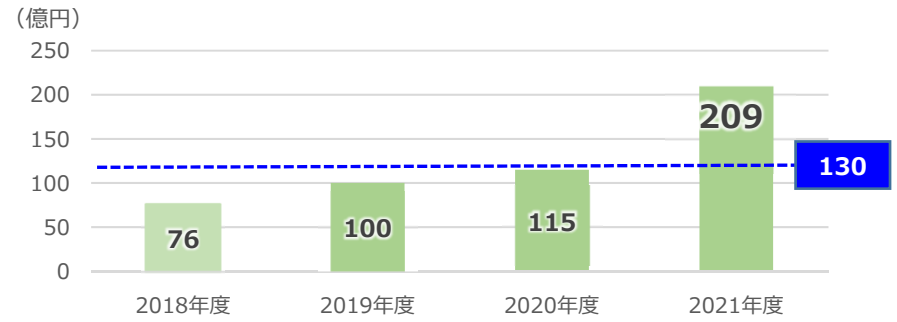
▶ 大口商権喪失、新型コロナウイルスなど想定外の影響は概ね吸収。



営業利益
<経営目標>
130億円
<成果>
209億円

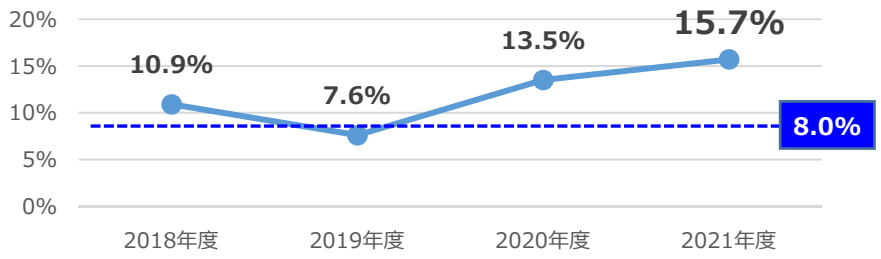
▶ 大幅に超過達成。

▶ 3期連続で最高益を更新。



ROE
<経営目標>
8%以上
<成果>
15.7%

▶ 中計2年目以降、安定的に8%を上回る。



加賀電子

新中期経営計画の概要

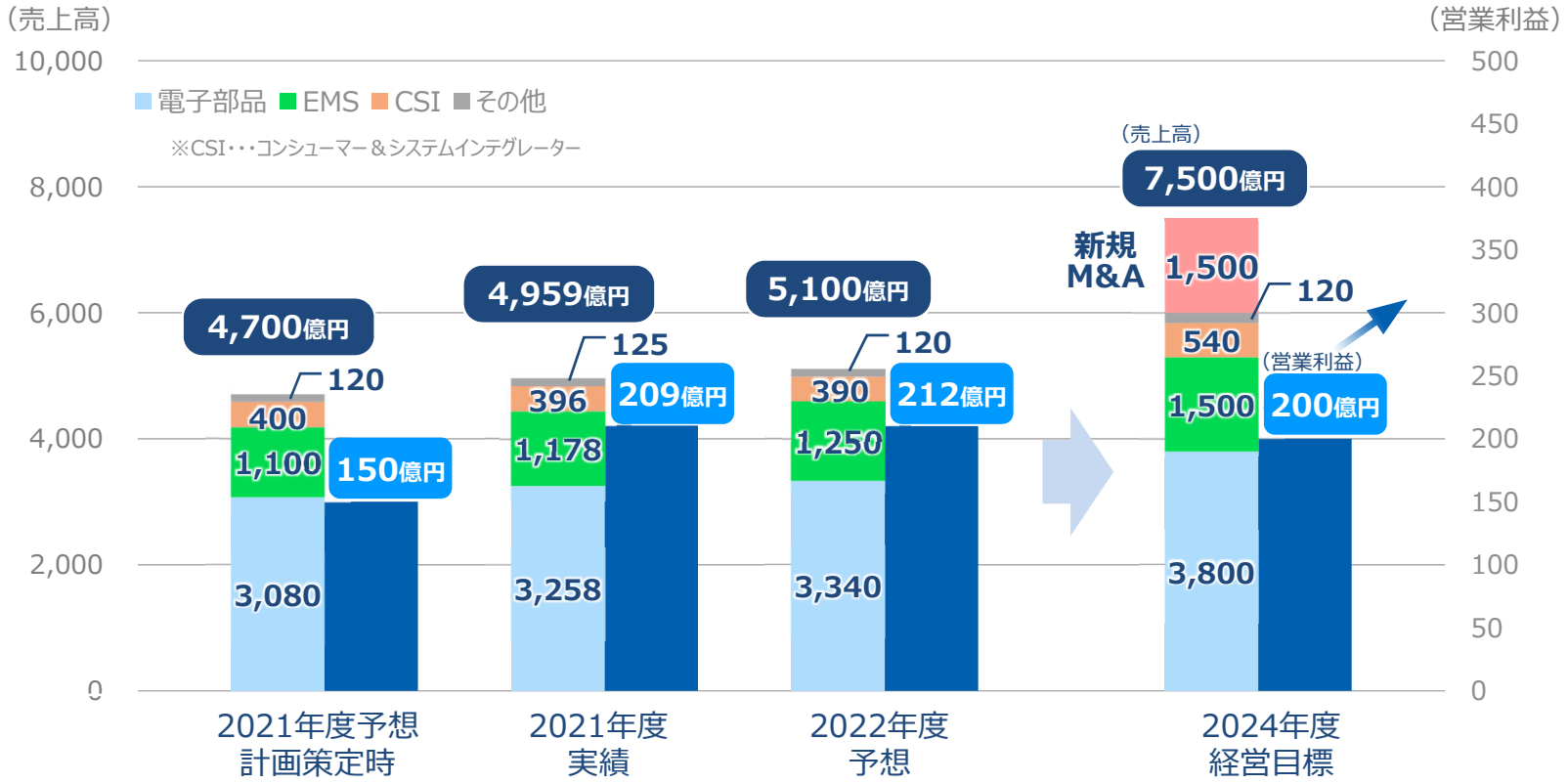
加賀電子

新中期経営計画　経営施策

基本方針	重点テーマ	主な取り組み
更なる収益力の強化	▶ 高い成長性や収益性が見込める市場に注力	• 成長分野への選択と集中 「モビリティ」「通信」「環境」「産業機器」「医療・ヘルスケア」 • EMSビジネス、海外ビジネスの強化・拡大
経営基盤の強化	▶ “我が国業界No.1企業”に相応しいグループ経営基盤への変革	• コーポレートガバナンスの強化 • 効率的なグループ経営 • 人的資本への投資
新規事業の創出	▶ ベンチャー投資やM&Aの積極活用	• 新規分野への取り組み • ベンチャー投資によるオープンイノベーション推進 • 非連続な成長を狙うM＆Aの挑戦
SDGs経営の推進	▶「社会課題の解決」と「企業としての持続的成長」の両立	• グループ横断的にサステナビリティ経営を推進 （詳細は、『サステナビリティ中計』へ）

新中期経営計画　経営目標

計画策定時に織り込めなかった特殊要因の押上げもあり、足元の利益水準は中計目標200億円を上回る。
2022年度上期における業績進捗の確度を見極めた上で、実体と整合するかたちで適正に見直しを行う。



	2021年度予想 計画策定時	2021年度 実績	2022年度 予想	2024年度 経営目標
売上高	4,700億円	4,958億円	5,100億円	7,500億円
営業利益	150億円	209億円	212億円	200億円
ROE	9.7%	15.7%	13.0%	8.5%以上

加賀電子

サステナビリティ方針

加賀電子グループは、「すべてはお客様のために」の経営理念のもと、「持続可能な社会の実現」と「持続的なグループの成長」の両立を目指します。
その取り組みにあたっては、「CSR基本方針」「環境方針」ならびに「行動規範」に基づき、お客様、取引先、株主・投資家、従業員、地域社会など全てのステークホルダーとの対話を尊重し、持続可能な社会の実現に積極的な役割を果たすとともに、企業価値の向上を目指します。

① 事業活動を通じて環境課題に取り組みます

事業活動を通じて、CO^2排出量の削減、廃棄物の削減と再利用の推進に取り組むとともに、環境に配慮した製品およびサービスを提供することで、地球環境を大切にする社会の実現に貢献します。

② 人権を尊重し、人財を育成します

性別や年齢、国籍や社会的身分、障がいの有無など個人の属性に関係なく、すべてのステークホルダーの人権を尊重します。また、多様な従業員が心身ともに安全且つ健康に働ける職場環境や個々の能力を最大限発揮できる人事制度・教育研修体系を整備し、イノベーションに挑戦する人財づくりに取り組みます。

③ 社会との相互信頼の確立を目指します

法令や規則を遵守し、公正な競争、高品質な製品およびサービスの提供、適時適切な情報開示など、誠実な企業活動を実践するとともに、ガバナンス体制の強化を図ることで社会から信頼される企業を目指します。

重要課題（マテリアリティ）の特定

加賀電子グループは、世界および当社が直面するさまざまな課題や社会からの要請に真摯に向き合い、「E：環境」「S：社会」「G：ガバナンス」ならびに「B：事業」の4つの観点から、当社の経営にとってインパクトの大きい重要課題を以下の通り特定しました。これらの重要課題の取組みを通じて、持続可能な社会の実現に寄与する企業活動を実践し、さらなる企業価値の向上を推進していきます。

	重要課題	関連するSDGs	経済・社会情勢の変化	取組み課題
E	クリーンな地球環境を作る	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を	● 地球温暖化・環境問題の深刻化 ● カーボンニュートラルへの要請	● 環境・エネルギー問題に貢献する製品およびサービスの提供 ● 環境負荷低減に向けた取り組みの継続
S	働きやすい会社、豊かな社会を作る	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう	● ニューノーマルに向けた社会構造の変化 ● 少子高齢化による人材の逼迫	● ニューノーマルに相応しいダイバーシティおよび働き方の促進 ● 加賀イズムの継承・発展による人財育成
G	持続可能な経営基盤を作る	16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう	● コーポレートガバナンス強化への要請 ● 環境変化に耐えうるレジリエンスの実現	● ガバナンス、コンプライアンスのさらなる強化 ● 利益重視経営の徹底
B	持続的な事業成長を実現する	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 17 パートナーシップで目標を達成しよう	● デジタルトランスフォーメーションの進展 ● IoT・AIなどICTの普及による超スマート社会の到来 ● グローバル競争の激化	● デジタル化社会に貢献する製品およびサービスの提供 ● 社会課題解決に貢献する新規事業創出 ● グローバル展開のさらなる促進

サステナビリティ中長期計画：主要KPI

	主なテーマ	取組み課題・検討課題	中期目標	長期目標
E	再生可能エネルギー100%化の実現	● 国内営業拠点における再エネ導入	2024年:40% (1%)	2030年:100%
		● 国内製造拠点における再エネ導入	~2024年:情報収集・分析及び方針決定 ・自家発電/外部調達 ・太陽光パネル/バイオマス発電/再エネ事業者	2030年: 50% 2050年:100%
		● 海外製造拠点における再エネ導入		2030年: 30% 2050年:100%
	社有車両のEV化	● 国内営業車両の電動車(EV、HV、PHV、FCV)への切り替え	2024年:85% (78.5%)	2030年:100%
S	ダイバーシティと人財マネジメント	● 中核人財の多様性確保（女性、外国人、中途採用） ● 高齢者・障がい者雇用の取り組み	<女性新卒総合職比率> 2023年:30% (5.8%) <女性管理職比率> 2024年:15% (13.3%)	<女性新卒総合職比率> 2028年:40% <女性管理職比率> 2029年:17%
	「ワークライフ・マネジメント」と「生産性向上」	● 育児・介護支援、テレワークなど各種制度拡充 ● 健康経営優良法人の認定取得	2022年:各種制度拡充 2023年:認定取得	2025年:外部認定取得 2024年~認定継続
G	CGコード改訂・東証再編に対応したガバナンス体制の再構築	● 独立社外取締役1/3以上 ● 指名・報酬委員会の設置	2021年6月実施済み	次期CGコード改訂に応じて目標設定
		● 取締役会の多様化	~2022年6月:方針決定	
		● プライム市場に対応したCGコード・フルコンプライ	2021年11月実施済み	
	経営の監督機能・執行機能の一層強化	● 「委任型執行役員」制度の導入	2022年4月:施行	
		● 「委員会等設置会社」への移行	~2023年3月:方針決定	

※( )内は現状値

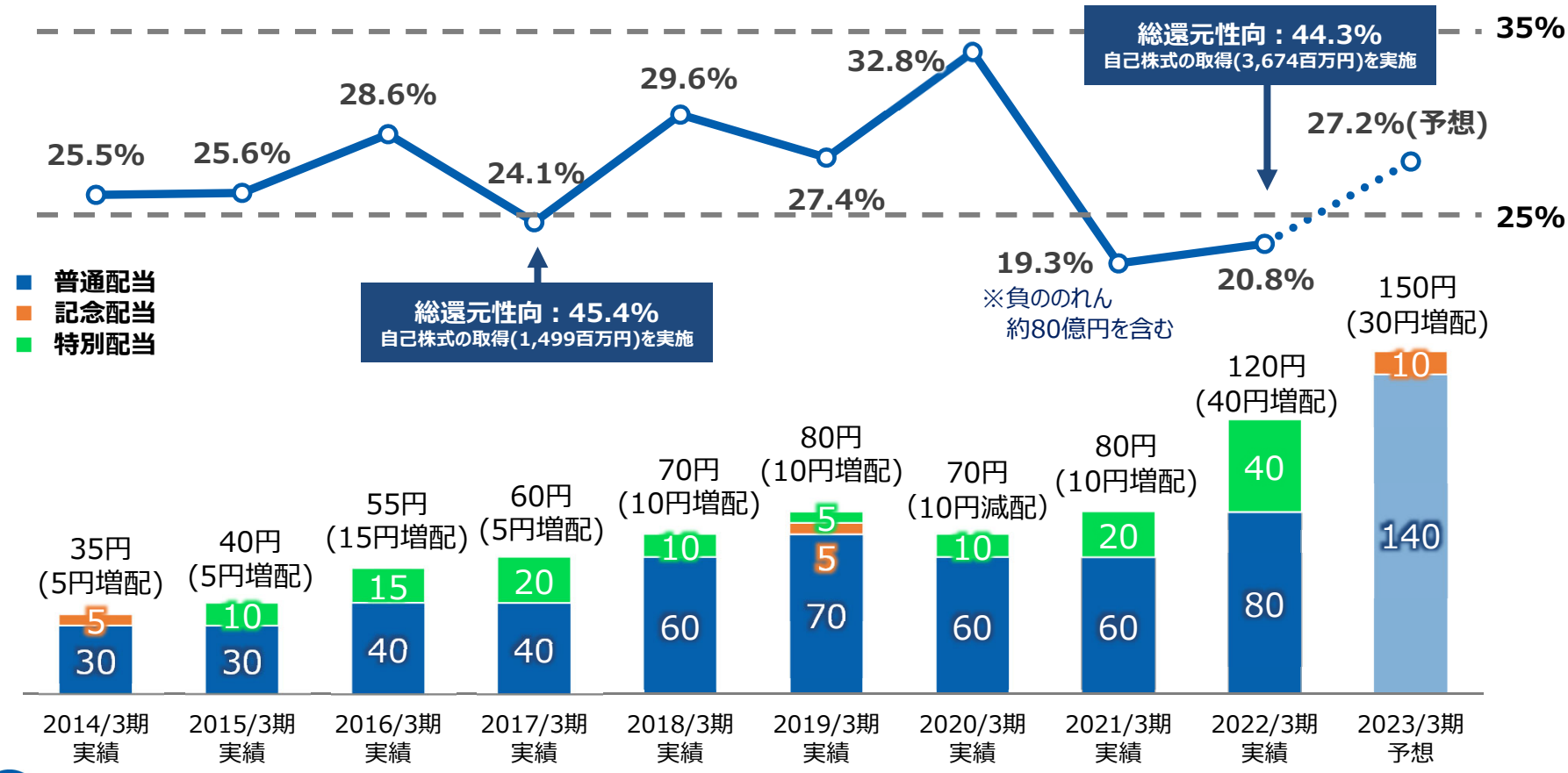
サステナビリティ中長期計画：主な活動・進捗状況

	主なテーマ	取組み課題・検討課題	2021年度の主な活動・進捗状況
E	再生可能エネルギー100%化の実現	● 国内営業拠点における再エネ導入	■ 使用電力量調査を実施(約442万KWh)。 再生可能エネルギー購入時期の検討開始。
		● 国内製造拠点における再エネ導入	■ 使用電力量調査を実施(約672万KWh)。 太陽光パネル導入、オンサイト/オフサイトPPA等を検討中。
	社有車両のEV化	● 国内営業車両の電動車(EV、HV、PHV、FCV)への切り替え	■ 電動車化比率 80.8%(2022年3月末)。
S	ダイバーシティと人財マネジメント	● 中核人財の多様性確保（女性、外国人、中途採用）	■ 女性新卒総合職比率は、女性活躍推進法に基づく「行動計画」を策定。計画に沿った採用活動を開始。 ■ 女性管理職比率向上をグループ内に周知。各社ごとに女性管理職員数の目標設計に着手。
		● 高齢者・障がい者雇用の取り組み	■ 障がい者雇用は法定雇用率100%(2022年3月末)。
	「ワークライフ・マネジメント」と「生産性向上」	● 育児・介護支援、テレワークなど各種制度拡充	■ テレワークは恒常的な制度として規程・ルールを改定中。
		● 健康経営優良法人の認定取得	■ 認定取得に向けてウェブサイト開示情報の整備完了。
G	CGコード改訂・東証再編に対応したガバナンス体制の再構築	● 独立社外取締役1/3以上 ● 指名・報酬委員会の設置	■ 2021年6月より実施済み。
		● 取締役会の多様化	■ 女性取締役2023年6月選任に向けて活動中。
		● プライム市場に対応したCGコード・フルコンプライ	■ 2022年6月よりTCFD対応含めた情報開示を予定。
	経営の監督機能・執行機能の一層強化	● 「委任型執行役員」制度の導入	■ 2022年4月より実施済み。
		● 「委員会等設置会社」への移行	■ 2022年度内に方針を決定。

株主還元

利益配分に関する基本方針

- **連結配当性向25～35%**を確保しつつ、**安定的な配当**を実施する。
- 将来成長に資する**事業投資・設備投資、M&A**等に活用する。
- **自己株式の取得**は、資本効率・株価等を勘案し、適切に判断する。



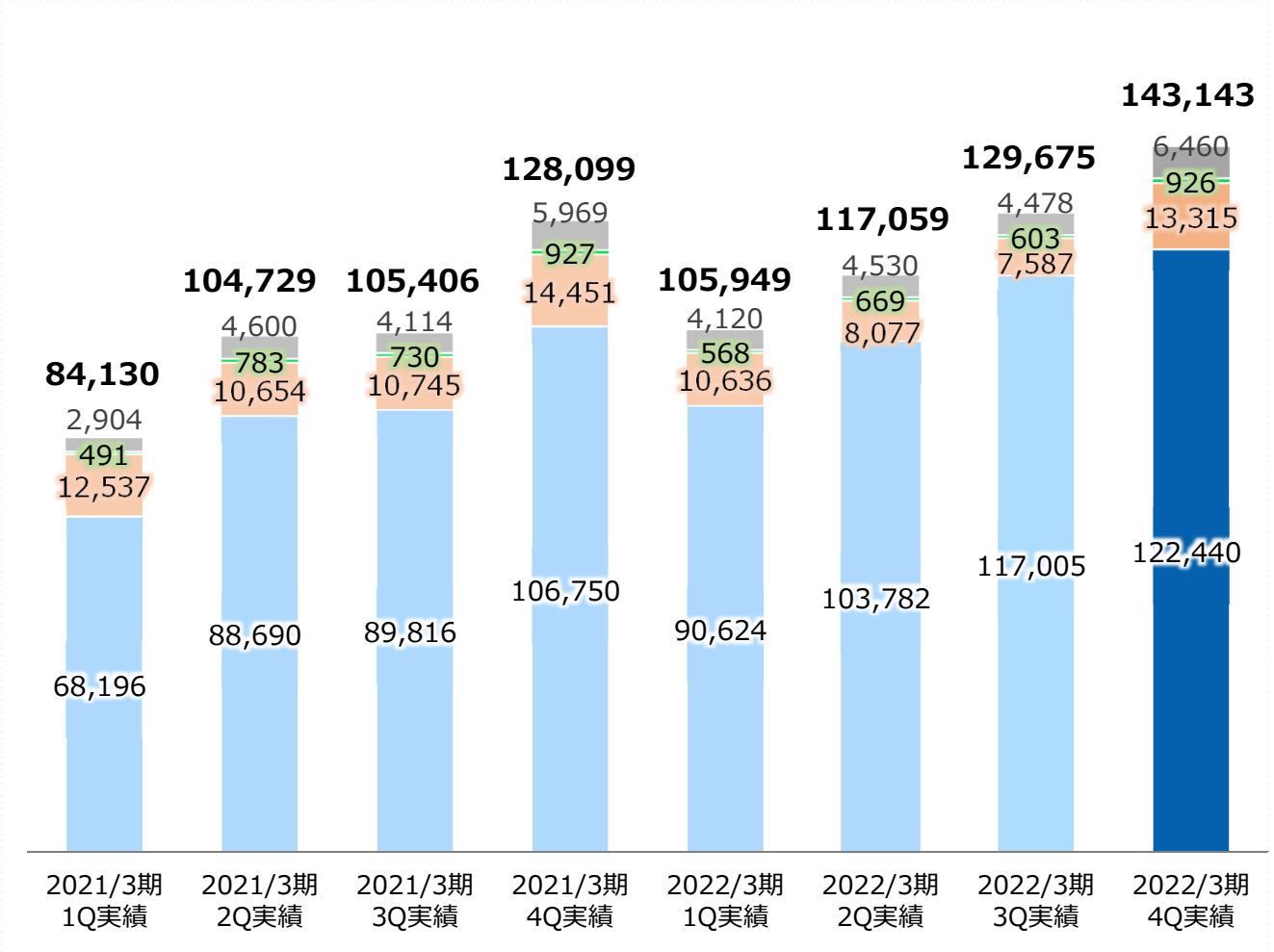
加賀電子

参考資料

セグメント別売上高四半期推移

（単位：百万円）

売上高



連結合計
前年同期比 ： **+15,043**
直前期比 ： **+13,467**

その他
前年同期比： **+490**
直前期比 ： **+1,981**

ソフトウエア
前年同期比： **▲1**
直前期比 ： **+322**

情報機器
前年同期比： **▲1,135**
直前期比 ： **+5,728**

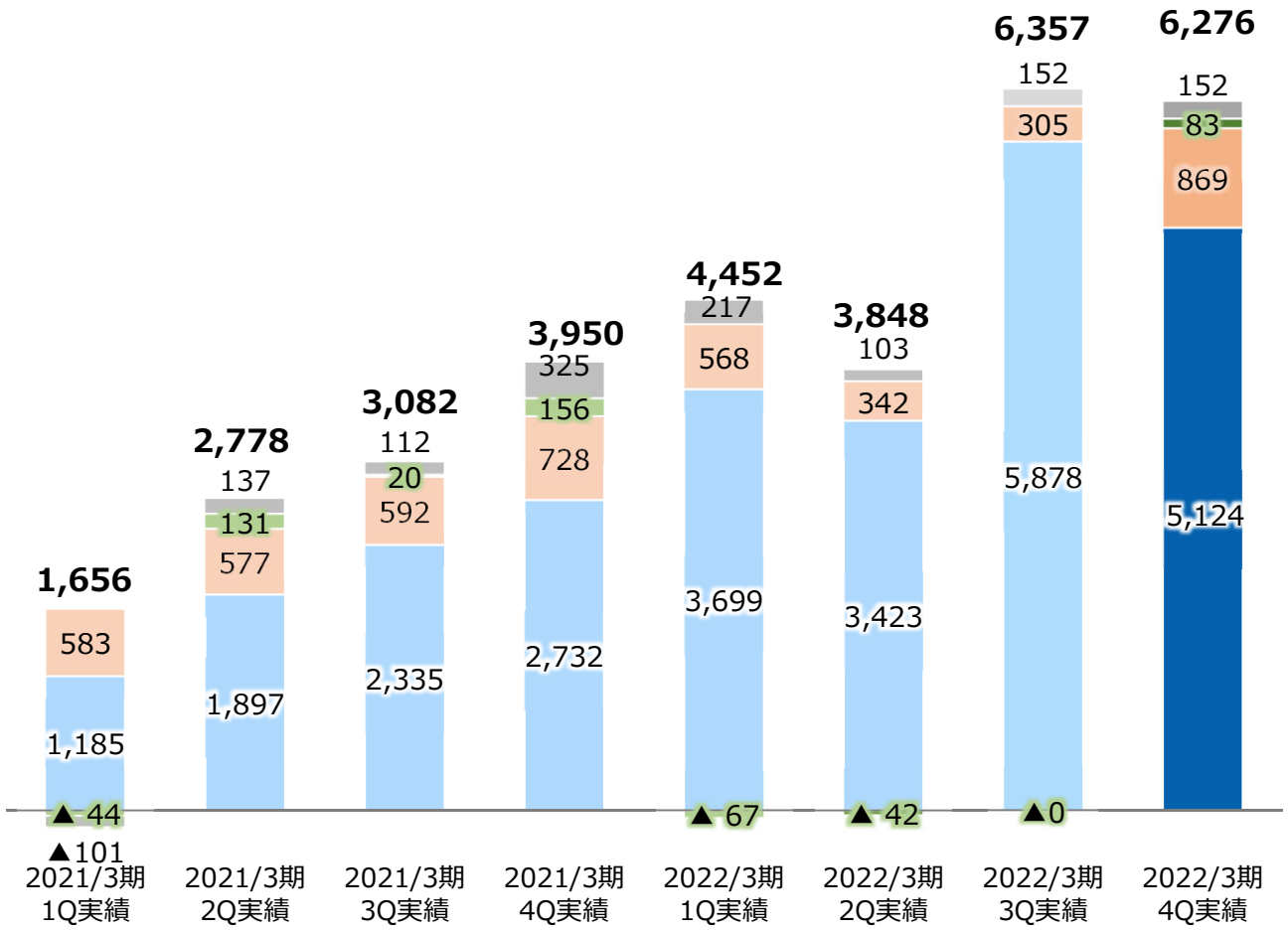
電子部品
前年同期比： **+15,690**
直前期比 ： **+5,435**

加賀電子

セグメント別営業利益四半期推移

（単位：百万円）

セグメント利益・営業利益



連結合計
前年同期比 ： +2,326
直前期比 ： ▲81

その他
前年同期比 ： ▲172
直前期比 ： +0

ソフトウエア
前年同期比 ： ▲73
直前期比 ： +83

情報機器
前年同期比 ： +140
直前期比 ： +563

電子部品
前年同期比 ： +2,372
直前期比 ： ▲772

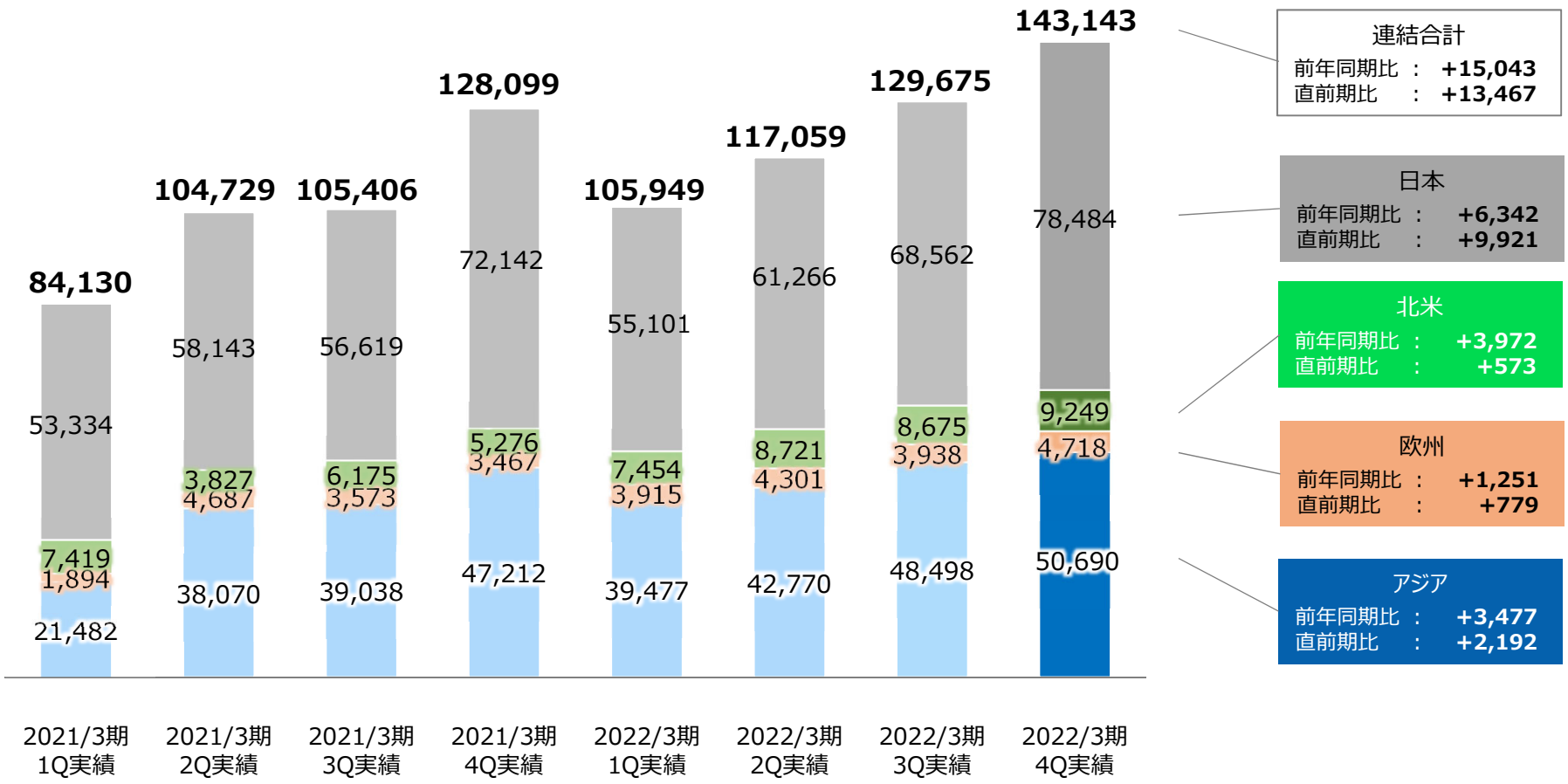
注： セグメント利益については、各事業部門では調整前の数値を記載し、
連結合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

加賀電子

地域別売上高四半期推移

（単位：百万円）

売上高



加賀電子

為替レート／為替感応度

	2021/3期 実績（円）	2022/3期 実績（円）	1%変動による影響額（百万円）		2023/3期 前提（円）
			売上高	営業利益	
米国ドル	106.06	112.38	1,573	46	116.00
人民元	15.48	17.03	242	9	18.00
タイバーツ	3.42	3.44	251	14	3.50
香港ドル	13.68	14.44	208	6	14.50
ユーロ	123.70	130.50	10	0	130.00

加賀電子

『すべてはお客様のために』

加賀電子株式会社

問合せ先：IR･広報室
〒101-8629　東京都千代田区神田松永町20番地
TEL:03-5657-0106
FAX:03-3254-7133
E-mail : webmaster@taxan.co.jp
https://www.taxan.co.jp

■　将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および
合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■　本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を四捨五入　　比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入